(1) 第94号 (昭和30年8月6日第三種郵便物認可) 関大 月刊 昭和38年1月18日 毎月1回15日発行 定価一部10円

国際情勢の展望

世界平和安定礎のとき
ケ大統領二年目の試練

平和か戦争か?。ことしも世界政治はこの命題をめぐって展開するだろう。命題といったが、いうまでもなくこれはどんな解答が出て来るかと興味をもって待っておられるようなのんきな問題ではない。ひとたび戦争となったら敵も味方もない。地球上すべて核兵器の支配する戦場となって凄惨の極に達するだろう。よその戦争で甘い汁を吸うなどといった不届きな考えが、最早絶対に通用しないとはいうまでもない。それなのに日本ではこの「核時代の戦争」についての理解がどうしてこんなに不十分なのであろうか、毎年繰り返される広島、長崎の追憶を新たにするための原水爆禁止のためのアピールも単なる年中行事の一つとして、ややともすればその重大な意味が聞きのがされようとしている。しかもその主催者側に政治的理由から分裂感きがおこって、大衆の関心はむしろその方によけいにひかれようとしているのではないか。

昨年秋「キューバの危機」が起ったとき、もしケネディの臨検をソ連の輸送船が拒んでいたらどうということになっていたか。この恐るべき瞬間を前にして、世界中が戦慄した、というのは決して誇張したいいかたではない。もちろんアメリカ海軍とソ連の輸送船垂組員とのカリブ海上におけるいさかいというのではない。そのいさかいをモメントとしてひきおこされるべき米ソの正面衝突が、その場合当然のこととして予想されたからだ。しかしこの恐怖の実感があのとき日本人のあいだで的確に把握されたろうか。よくいえば日本人性来の楽観が、カリブ海という縁もゆかりもない遠い地点の出来事ということとあいまって、なんだか拳闘の試合を眺めるようにどちらが勝つかというふうな興味だけを誘ったようだったが、事の重大さを知るものにとっては、あの数時間とそはまことにいきづまるような人類興廃の「瀬戸際」だったのである。

であればこそフルシチョフが輸送船に臨検を許させ、つづいて問題のミサイル兵器の引き揚げを約し、それによってケネディも攻撃準備を解いたとき、世界中の人人は本当に胸をなでおろしたのであった。その後フルシチョフはイリューシン爆撃機をも引き揚げ、ケネディの要求を百%容れたかたちとなって、キューバの危機は現地査察の問題を残して一応回避された。

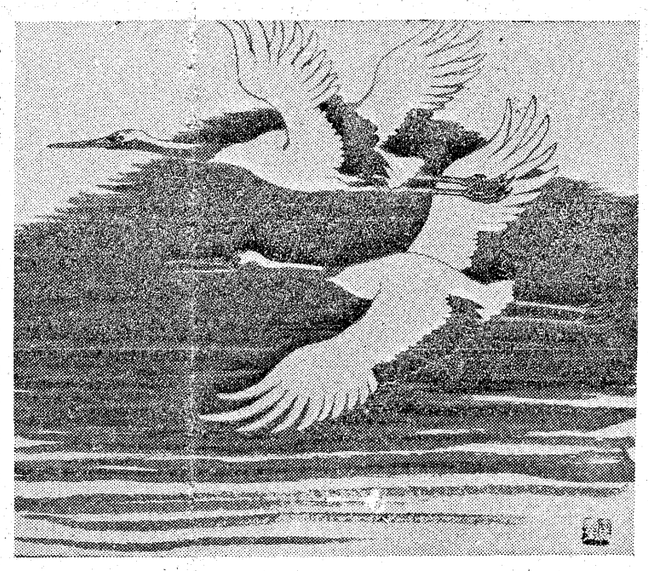
これは冷戦下の一九六二年の特記すべき出来事であった。ケネディがフルシチョフに勝ったというような東西の量取表の黒白をいうのではない。この事件以来、逆に東西間の緊張を解く気運がたしかに動いてきたということである。フルシチョフが何の目的をもってアメリカの裏庭といわれるカリブ海にミサイルを持ちこんだか。その理由については色々の臆測がある。最初からアメリカの反応を計算に入れてこの一芝居を打ったのではないか、由来ロシア人はチエスの名手だから、そのくらい先の先の手をよんで打った一石ではないかという見方もあるが、まさかそんな深謀遠慮の筋ではあるまい撤退を要求されたとき、フルシチョウは最初の書簡で、トルコにあるアメリカのミサイル基地の名を挙げたので、その撤退を交換条件にするのではないか。あるいは西ベルリンからの西欧軍撤退を交換条件に持ちだすのではないかということも予測されたが、それらはすべて臆測に終って、結局はフルシチョフの「無条件降服」に終った。

十二月十二日、フルシチョフのソ連最高会議における外交演説にもそれについてのべつだんの説明はなかった。ただカストロの要請を受けてアメリカの政転からキューバを救うためにミサイルを送ったというだけである。このへんからまた別の推測が出る。フルシチョフはもともとアメリカを張り子の虎と見る。アメリカの裏庭へミサイルを持ちこむという瀬戸際の冒険を犯してもアメリカは核戦争を賭して攻撃には出て来ないだろうと見た、というのである。もしこれがその計算どおりいってキューバのソ連ミサイル基地が既成事実としてながらえることになったとしたら、これはたしかに冷戦のバランスをくつがえすものとなったであろう。しかしケネディはそのとき素に相違して、ただちに攻撃の姿勢をとった。張り子の虎でなくて、怒り狂う虎の獲物に向って飛びかかろうとする姿であった。このほんものの虎のほえたてる前に、こんどはフルシチョフの方が張り子の熊になった。すごすごとしっぽを巻いて退散する幕になった、ということれは主としてアメリカ側ないしは西欧側の見方であるが、あるいはどのへんが真相かもしれない。ソ連のミサイル優位というのも一面の見方であってさほど問題ではない。大切なのはともかくもあの戦争の危機が辛うじて回避されたという事実である。フルシチョフの最高会議における演説はキューバ撤退をソ連の平和政策の立証として年来の平和共存を新しく打ちだすことにその眼手があった。しかもかってスターリンに「修正主義者」の刻印を捺されて、破門されていたユーゴーのチトーを客客として迎えて中共、アルバニアの「教条主義」を攻撃するという形をとっての平和共存政策の強調であった。中共は各種のミサイル兵器について綿密な比較研究をすれば、やはりアメリカの方がすぐれているという専門家の見方もあるし、いざ戦争となればキューバを基地として戦うことが、ソ連として不利なことはいうまでもなかろうか。フルシチョフはそれほどの愚者ではないベルリンで戦うとしてもキューバでは戦うまいという常識がこのフルシチョフの完全撤退を説明するしかしいまフルチショフの真意は現に中共が国境を侵入して、一応撤退したとはいえ、このために非同盟、平和五原則を守るネール首相の立場を困難におとしいれ、ソ連を困惑させている。中ソの争いは最早決してイデオロギーの論争にとどまらないで、現実政治の上の大きな争となって来た。

十二月三日、日米通商経済会談でワシントンを訪ねた大平外相ら日本の閣僚を迎えての午餐会の席上、ケネディ大統領が行なった演説――ケネディ発言として臨時国会でも問題となったあの演説で、ケネディが「共産主義者の拡張」といいながらも、特にスターリニストと名づけ中共の危険を説いたのは注目に値する。その中共の拡張を阻止、封じこめるため日本の協力を求めたのがあの演説の狙いであって、それが果して軍事的意味をも含んでいたかどうか、日本にとっては重大な問題であるが、それは別として、ここに注意を促がしておきたいのはケネディが特に中共の危険を説いたことである。フルシチョフはまだ話がわかるしかし毛沢東は許せない、という実感がキューバで「勝った」ばかりのケネディの心頭に蔽っていたことは、当然理解出来るではないか。しかも前述のようにクレムリンにおけるフルシチョフの口をついて出たのも、中共の「教条主義」に対する鋭い攻撃の言葉だったのである。

ここで一九六三年に持ちこされる一つの課題はこの「米帝国主義」を対象としてのソ連、中共の対立が今後いかに発展するか、ということである。中共は各国共産党の世界会議における討論の要求しているが、ソ連がそれに応ずる気配はない。共産側にとって資本主義国の分裂はレーニン以来その信条の一つとなっていたが、今や分裂はどころを変えて共産陣営を襲う危局となりつつある。ところを変えてといったが、キューバで点をかせいだアメリカがこのあらえむきの形勢を傍観するはずはあるまい。すでに「ケネディ発言」はそのハンリと見られぬこともない。

しかしいま西側陣営にとって大切なことはフルシチョフの打ちだした平和ムードを如何に活かすかということである。冷戦のイニシアティヴを取りもどしたといわれるケネディの責任は大統領就任二年にして、世界平和のいしずえを築くそれは具体的には軍縮、核実験停止、ベルリン問題安定等々の形をとって現われるだろうしにはいまま、一九六三年の幕開きのときこそが最も格好の時機と信ぜられるのである（筆者・加藤三之雄氏、本学文学部教授）



暁の鶴・中庭媛華

卒論必修制廃止の立命大

立命大文学部では明年度から卒業論文必修制を廃止。自由な選択制にすることを決めた。

着々と進む80周年事業計画

久井専務理事に抱負をきく

関西大学でに創立八十周年をひかえて、その記念事業計画の内容を発表。それにについて一般に協力をよびかけ、その準備も着々とすすんでいる。校友念願の「関大会館」の建設も事業計画のなかにふくまれ、母校もますます発展への途を歩んでいる、希望あふれた年のはじめにあたって、久井専務理事にその抱負をうかがってみることにした。

久井専務談 明治の十年代に大阪の寺院の一隅に設けられた関西法律学校が現在の関西大学に生々発展したのであるが、その間には大きな転機の節があった。興正寺から江戸堀校舎への移転、さらに福島学舎、天六、千里山学舎へと拡充がつづき、大学令による大学に昇格、終戦後新制大学に移行など、先人の労苦は筆舌に尽しがたいものがあり、また教職員、学生をはじめ、校友、市民のかたがたの理解ある協力援助に深甚の謝意を表する次第である。

七十余年にわたる長い歴史を基礎として、関西大学もこと十年の間に、内容の充実、施設の拡充整備に力を注ぎ、特に昭和二十八年度に教員数において専任九一、非専任九二であったが、三十七年度には専任二七五、非専任二六四となり、専任数の比率が、著しくかわったことは、内容充実に一歩前進し、図書館蔵書も一三万冊、雑誌種類五七〇種が、三六万冊、五〇〇〇種と飛躍的に充実したが一流私学としては、また満足するに程遠いと考えている。

昭和四十年には、創立八十周年を迎えるのであるが、同志社はじめ、東都の早稲田、中央、明治、法政の諸大学も相前後して八十周年を迎える。これらの大学でも十億乃至四十数億円の記念事業計画を発表して、着々拡充整備の一途を辿りつつある現状である。

本学においては第一次、第二次の五カ年計画を終了し、長期計画にのっとって学舎の増築三七〇〇坪七億三千万円、図書館研究室増築一四〇〇坪、一億八千万円、体育館一五〇〇坪、一億九千万円、関大会館一二〇〇坪、一億五千万円など、総計十三億五千万円と策定し、この資金は募金五億円、募債三億円、不足額は自己資金をもってこれに充当する考えである。校友多年の念願であった会館の建設は、校友の皆さんのご協力を得て〝大学会館〟として八十周年の記念祭を迎える昭和四十年に完成して、いわゆるユニバシティ・エクステンションの場としてまた学園ゆかりの皆さんの憩和の場として活用できます様にお願いしたい。幸い校友会では会館建設資金七千五百万円の募金に積極的な協力援助を表明されて、募金態勢をおすすめ下さっておりますことは誠に感謝に堪えません。

今後の三年、記念事業の達成に全学の総力を結集して邁進すべき大事な年のへき頭に当りまして、三好理事長が信念として吐露されている〝和〟に深く思いをいたして、大学の前進のために努力いたしたいと思います。

公益委員に森川教授

大阪府地労委員の新委員がこのほど決まり、公益委員に本学経済学部の森川太郎教授が再任された。

税務功労者で重なる表彰を受けた長柄氏

長柄金吾氏はさる十一月十九日大阪府納税表彰式に大阪府下より選ばれた二十八人の納税功労者の一人として南大阪府知事より表彰並びに記念品の贈呈を受けたことは当時日刊紙の報じたとおりであるが、たまたま本年は税理士制度（旧税務代理士を通算）二十周年にあたり近畿二府四県を管轄する大阪国税局管下の五税理士会合同主催の税理士制度二十周年記念式典が十二月十日大阪・都島大閣園で盛大に行なわれた、その式典において大阪国税局長は管下の税理士二千四百数十名中より長年税理士としてまた税理士会の要職を帯びて納税道義の普及高揚及び税務行政の適正執行に尽した功労者二十六名を選定の上表彰。その一人に長柄氏が選ばれた。前述の通り同氏は地方税の立場から大阪府知事より、国税の立場から大阪国税局長より重なる表彰を受けたものである。なお大阪国税局長より表彰された二十八人中に関大出身者は長柄氏の外に鵜飼徐次郎、浅山敏夫、山中秀太郎氏等がある。

自主独歩の態勢を

校友会長 岡野衛士

校友のみなさん

謹んで新春のお慶び申し上げますとともに昨年も貴家に万福のあらんことをお祈り申し上げます。

旧年は全般的に経済事情が悪くいろいろと苦労の多い年であったと思います。校友会も大過なく諸事業を継続し行なってまいりましたが、財政的基盤の確立には、来る年に多くの希望をかけて新春を迎えるに至りました。一夜にしてすべてが好転するものでありませんが、元日のすがすがしいアトモスフェアの中で厳粛をいだいて心新たなものを感じること、やはり本年こそは約束に違れるのは一人私は年頭所感

昭和三十八年の新春を迎えていわゆる瑞祥麟の至りであり、わが関西大学校友会の発行する「関大」が、過去二ヵ年の間に紙上を通じて、母校のため校友のため、また一般社会のため校友に至れた功績は決して鮮しとせず、年頭に当り深く敬意と謝意を表すると同時に、新しいこの一年間も、また昨年にもまして一層努力され、ますます母校のため校友のため、さらに一般社会のために一段と寄与せられんことを祈する次第であります。また全国各地に活躍される七万有余の校友諸賢に対して謹んで年頭の祝詞を申上げると共に、旧き母校に寄せられた校友各位の格段のご芳情を鳴謝いたし、あわせて本年もまた倍旧のご支援をたまわらんことは本会史上未曾有の大事業といえますが、それだけに本会の真価を問うまたとない機会ではないでしょうか。校友総力の熱意と努力を底辺とするピラミッド造りは既に始まっています。その礎音は未だ小さなものでかありません。しかし一校友から一校友への反響がやがては数万校友の間にとどまる高らかな礎音となり、輝かしい校友会の一層の発展が約束される日を期待するのは新春の初夢とばかりは申せません。

すべての校友が大きな期待と信頼を寄せ得る校友会への飛躍を念じつつ年頭の所感とさせていただきます。

教学体制の確立を

学長 中谷敬寿

昭和三十八年の新春を迎えて、紙上をもってお願い申し上げます。

今年はあたかも干支では「卯」（兎）の廻り歳である。兎はきわめて温順であるが、はなはだ利巧で俊敏である。伽噺では、月々の月今が晴れた夜空に満月ともなれば真円いお月さまの中に、お餅搗をする兎の群の姿を遠く眺め得るが、人智の異常な進歩発達は漸て月ロケットの成功をみるに至り、月の世界にお餅搗をする兎の有無をも実地踏査してくれるでありましょう。しかし、兎と亀との駈け競べのように、いかに悧巧で俊敏な兎でも油断をすれば、遅くとも確実な亀の歩みに一敗を喫することとなる。夢にも油断は大敵であります。明治十九年関西法律学校として誕生したわが関西大学は、お蔭をもって発展の一途をたどって今日の一大学園となり、昭和四十年にはめでたい八十周年を迎えようとしている。この時新春を迎え大方のご支援をえて学園内外の一致結束態勢を一段と強化し私の提唱している わが関西大学の教学体制を合理的に整備強化してその基本方針を確立し、教学体制委員会の答申をまって各領域における体制の成るにしたがって、それぞれの実現に努力し、今年昭和三十八年を稔り多き最良の年とするよう寿ぎ、八十周年の佳き記念の歳に備えたいものであります。

沖縄経済視察団募集

日数 五日間（四月二十日―二十四日迄）
旅費概算 七二、〇〇〇円（航空運賃往復、宿泊料金、観光料金一切を含む）
定員 五〇名
申込締切 二月末日まで
申込先 大阪市大淀区長柄中通二 関西大学校友会「沖縄経済視察団」募集係

関西大学校友会では対外活動の一環として各種事業を行なってきたが、このたび、第一回沖縄経済視察団を左記要項で募集することになった。日程五日間のうちには、琉球舞踊を観賞したり、那覇市内をひめゆりの塔や首里城跡、さらに、北、中部の観光プランが盛られ、終日自由行動もあるといい、ゆったりとした日程案が組まれている。

第一回関西大学校友会主催

大島特許事務所
所主 弁理士 大島武夫
弁理士 大島一公
大阪市北区宗是町一ノ一〇・中之島ビル
電話(44)一一〇〇・〇〇五六・〇〇五九番
自宅 茨木市東宮元町五三番地
電話茨木(〇二六二)四二四九番

お座敷 北京料理 天山閣
生玉境内 電話 (771) 5611―5614

南紀白浜温泉 国際観光旅館 天山閣
電話白浜温泉局1番・大阪案内所(771)2588直・5611代

内閣総理大臣賞に輝く最高位の技術
紳士洋服高級服地
片野洋服店
大阪市東区北浜3 電停前電(231)0565―7
大阪駅前第一生命ビル専門大店(361)6717

人として在阪大阪府知事より表彰

▼日の丸と君が代と門松との新年がやってきた。といってもそれは昔の話。いまは門松用の松も切らずに国土緑化に協力しなければならないご時世。日の丸も君が代もトンと人気がなくて、政府やら、憂国の士をヤキモキさせている。因みに外国人は、あんがいと国旗や国歌やらと尊重するという▼二年先のオリンピックをいまから気に病む人もいる。そこで池田総理提唱による人づくり懇談会では、祝祭日には新聞からテレビ、ラジオに君が代と日の丸をジャンジャンながして、国民感情をもりあげることに決めたとか。なるほど昔の人達が日の丸と君が代に執着をもつのは、あんがい、愛国心と一緒に繰り返し叩き込まれた教育のせいかもしれない▼今の子供達はそんな教育を受けていないのでトンと興味を示さない。それどころかひどく国際主義的でアメリカ勝て勝てと子供が言ったと嘆く親もいたが、もっともプロ・ボクシングにしても〝アメリカ〟と紹介されて出て来たのが黒人だったり、日本のプロ野球に米人投手がいたりしては、国旗も話がややこしくなるのかもしれない▼日本人が一番嫌いだという日本人が外国へ行くと、日の丸が有難くなったり、日本の食物が一番だったり、日本の女が最高だったりに変節して帰ってくるありさまだから、ひとつ全国民を洋行させれば日の丸党をつくるのには一番手っ取り早いんだが、そうもいかなければ、セイゼイ国際ボクシングでも大奨励して日本人が滅茶苦茶になられたり小っちゃい魔女に日の丸を揚げさせたりして見せた方が効能があるかもしれない▼もともと世界は一つだ、それを日の丸ヤレ屋柔旗だと尻の穴の小さなことをいうなと火星人みたいなことをいう人もあるし、そんなお釈迦さんの親戚みたいなことをいう奴に限って家では女房の一人もよう可愛いがらんと泣かしとるもんだ。良い日本人になれずに、どうして良い世界人になれるかとの反論も出よう▼要は、内には家を治め、日の丸を愛し、外には人間の幸福と世界の平和に貢献する日の丸党でなければならない日の丸の他は皆嫌いの、ナニがナンデモの排他的なものはもちろん、嫌いなものは日の丸にあらずとする様な復古調の誤りをおかしてはならない。とすれば、やはり日の丸はレッテルで中ミは入づくりでなければならない。

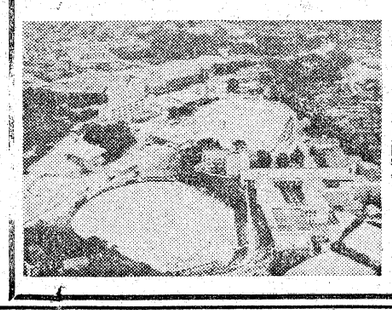
例えば月々のお積立を1万円として
2年目には設計にとりかかる楽しさ
3年目に100万円の融資をうけて家を建てる
返済期間は4年から7年とゆったりしています
融資型住宅信託
大和銀行 天六支店
天六阪急ビル

関西大学
大学院
修士課程 法学・文学・経済学・商学・工学各研究科
博士課程 法学・文学・経済学・商学各研究科
学部
一部＝昼間・二部＝夜間
法学部 法律学科・政治学科
経済学部 経済学科
文学部 哲学科・国文学科・英文学科・史学科・仏文学科・独文学科・新聞学科・東洋文学科
商学部 商学科（一部のみ）
工学部 機械工学科・電気工学科・化学工学科・金属工学科・管理工学科・機械工学第二学科・応用化学科は38年度新設

◎試験日

商学部	一部・二部	2月9日
法学部	一部・二部	2月10日
文学部	一部・二部	2月11日
工学部	一部	2月12日
経済学部	一部・二部	2月13日

◎出願 1月12日から2月6日まで
◎地方試験（一部のみ全部）
▼試験日 2月10日
▼出願 1月12日―2月2日
▼試験日 金沢・名古屋・高松・広島・福岡
募集要項（要70円〒共）
関西大学学務局 大阪府吹田市千里山


（千里山学舎）

米山薬品工業株式会社
社長 嶋田藤平
大阪市東区道修町二丁目三三番地
電話大阪231局（代表）3555―8番
受信略号 オオサカ キタハマ・ヨネヤマ

関大
発行所 関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人 佐伯五郎
電話大阪(351)代2072
振替口座 大阪55594番

コンタクトレンズ
メガネ
大学堂
本店 心斎橋筋
TEL (271) 8086
支店・阪神百貨店5階
・第一生命ビル専門大店

兎園春光

内田吟風

古代の中国人は、兎の性質をよほど悪賢いと考えたものと見えて、「狡兎三窟」のたとえにも見られるように、兎のことを、しばしば狡兎とよんでいる。

狡兎三窟とは申すまでもないが、戦国時代の有名人孟嘗君の食客が、彼に兎が三つの穴を営んで生命を保つ智慧にならうことをすすめ、三つの保身の計略を行なわせたので、その結果、孟嘗君は数十年にわたって栄位を保つことを得たという故事に出たものである。

もっとも玉篇という古い字書によると狡という字は疾（はやい）とか、健（すこやか）とかの意味もあるから、有名な韓非子の文中にある「狡兎つきて良犬にられ、敵国ほろびて謀臣ころされる」という言葉に見られる兎狡などは、むしろ足の速いうさぎ位の意味かも知れない。

猟犬をひいて兎狩りをするのは、古代中国人にとっては大きな娯楽であったらしく、秦の始皇帝の下で威権をほしいままにした宰相の李斯が、一朝失脚して捕えられ、首都咸陽の市場に引き出されて、中子と共に斬られるとき、中子にむかって「おれはお前と、もう一度、黄犬をひいて一緒に上蔡の東門を出て狡兎を追いかけたいものだが、もうそれもできぬようじゃ」と話しかけたことは史記に見えた名高い物語りである。

それで漢代では、貴族の中には広大な兎園を起こし、人民に命じて生きた兎を飼発し園内に放ち、遊猟に興じたものも少なくない。当時中央アジアから来た隊商の一人が禁令を知らずに、勢貴の一族梁氏の兎園の兎を殺したことから刑に処せられるもの数十人に及んだ事件さえ起っている。

× ×

兎の毛は筆の製造に最も珍重された。蒙恬が発明した筆は、柿木を軸にして鹿毛を柱に羊毛を被せたものと伝えられるから兎毛竹管はそれよりやや後にできたものであろう。すでに漢の朝廷は諸郡から毛筆用の兎の毛を献納せしめており、趙国すなわち今の山西省北部や河南省西北部から出る兎毛を最良としていた。

宋人の著書に、筆には鼠の鬚、狸毛、鹿毛、人の鬚、羊毛、鵝毛、猫狸毛その他を用いるが、ついに山中の兎のよりに及ばないとある。秋の兎は健さがとりえであり、冬の兎は堅さがとりえであるといわれる。漢では天子の筆はみな秋兎であったと西京雑記にしるしている。

唐代の地理書である寰表録異という本によると、広東、広西地方やそれ以南では狐や兎がとれないが、しかし野猫毛、鹿毛を用い、また鼠毛をえらんで使うと兎のとほとんどかわらないのができるとある。また唐の時代のことであろう。あるときその地方のある郡の太守が兎皮を得たので筆工に命じて作らせたところ、酒に酔うて皮をうしなった。驚きおそれた工人はひそかに自分の鬚をきって作り、さし出したところ、至極上等であったので、もう一本作れと命ぜられ、困りはてて白状すると、その太守は管下の人民から鬚を徴収し、ひげを出せぬ家からは代金を貰い取ったと記している。兎を柱（しん）とし羊を以って毫を被うて剛柔を調節するようになったのは近代のことのようである。

× ×

晋の時代の学者である崔豹の著書をみると、「兎は口がさけており、尻に九つの孔（あな）がある」と説明している。まだ動物学者にたずねるひまがないので、はたして兎の肛門が九つあるかどうかは知らないが、恐らく兎が例の散弾のような糞を噴出するさまからの誤解ではないか。もっとも、さきに述べた狡兎三窟のことを「三穴」と書いた古典もあったので、それから来た誤解かも知れない。

なぜ兎糞はあのようなのであろうか。体質が、はた食物の関係からであろうか。人間でも音は用便のあと、ヘラで始末がついたのは、あながち紙が貴重であったからだけではなく、やはり主食等の違い（麦と米、玄米と白米等との差）から来ているのではないか。中国ではそれ用のヘラを厠籌（しちゅう）と称した。南北朝時代の熱心な仏教信者であった北魏の霊太后胡氏は崇拝する僧侶のために自ら厠籌をつくり、頬にあてて出来ばえをためしてから賜ったと伝えられ、また北斉の暴君顕祖は宰相自身に厠籌を持ってさせたと記録されている。その他の事例からも、このころまでは上流でも紙を使用していないことは確実のようだ。紙の発明されたのは後漢のころで、この南北朝ごろにはすでに紙は相当に普及していたのであるから、これは文化史上に問題とするにたるといってよいであろう。

× ×

話が正月早々大分ずれたが、上にもどして話をおわろう。お月さまの中の兎が餅をついているというわが国の説話は月中の兎は神薬をついているという中国の説話から出たものではないか。月兎が神薬をつく話は晋の時代の人の歌謂に見えており、おそくとも四世紀ごろにはいわれていたものと考えられる。

（筆者・本学文学部講師。東洋史専攻）

お知らせ下さい

支部ならびに校友各位の異動については、出来るだけはやく左記へお知らせ下さい。

連絡先・大阪市大淀区長柄中通二関西大学校友会「関大」編集部宛、電話（63）二〇七一番

頌春

重浦春水

初暦のめぐり迎へし卯の歳の子の声もなく森閑として
東新の地にひろごり初明けの光霊燦々いろさだかなり
清新にひびき昂なる人われの協和のとしをひたすすまむ
海山の人の心に融けしめて老いに若きに血のもゆるかな
永久を経て石凝翠に苔栄えし人の生命になつがり香をる
四季の色人の心を香をしめ寒木みどり紅葉雪の降りつぐ
手を打て池の真鯉のなにごとぞとみみそばだてて眺るうれしさ
ことあればそこに集まる人の目のよにあしきに泣き笑ふにぞ
この呼吸がうまれて消えて生れつぐ人の生命の尊とかりけれ
巌を打つ波の柱のこえにだに昂なり淡く人のこころぞ
天地の北り離けあひとりどりの命のままのくらしすいろの

校友会本部だより

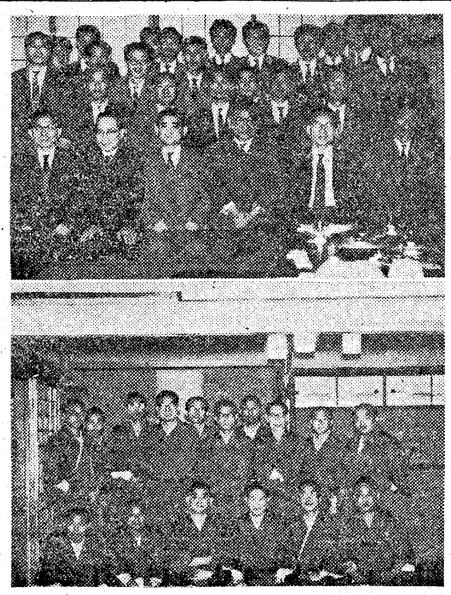
会則改正委員会（3月5日）
▽本会現行会則の「会員」について特にその資格の問題検討

募金企画委員会（3月10日）
▽関西大学創立八十周年校友募金実行委員会大綱の検討

財務部会（12月13日）
▽昭和37年度予算収支の11月末現在にて検討

部長連絡会（12月14日）
▽財務部より本年度11月末日現在での予算実行状況について報告
▽募金問題に関する経過報告
▽学校法人関西大学寄附行為改正に関して大学理事者との懇談

総務部打合わせ会（12月21日）



写真・上から神戸関大倶楽部、関大法曹会各総会模様

神戸月見の支部から

きたんのない意見交歓

神戸の夜景を一望に

神戸関大倶楽部

神戸関大倶楽部総会が十二月四日午後五時から、兵庫県職員会館で約七十名が集まって開かれた。

宝石を散りばめたような神戸の夜景を一望に見下しながら、会場は新入会員の紹待等もあって、老若校友、さらに紅一点今春法学部を卒業した山本和子さんをまじえて、まことに和気あいあい、きたんのない意見が述べられて盛会をきわめた。なかでも山崎支部長から結婚の見合いから式にいたるまで支部全体で面倒を見たいとか。また女子校友として山本さんは将来結婚しても出席出来るように家族同伴で楽しまれる会であってほしいと希望。その他、心のよりどころとして公的私的にも支部総会が最大限に利用出来るようになってほしいという意見等あって大いに歓談。かずかずの嬉しさを披露したりして、たのしい一夜を心おきなくくつろいだ。

七周年を記念して

年輪会総会

さる八月に五年ぶりで開催した年輪会では、年二回の主旨にそって十一月十一日晩過ぎから、池田市本会は昭和三十年十月十一日に結成され、今回をもって、七周年を迎えた。卒業以来はじめてという珍らしい顔振れもあって、寝たけなわになるとともに、積年の懐旧談に花が咲き、母校や校友会に関する議論、また生活談に爆笑が巻き起こったり、三昧線による隠し芸、素芸が飛び出すやら、むかしを再現しながら、たのしみ寄せ書の色紙と神吉副会長寄贈の十両を片手に、十時すぎ散会した。

羽曳野支部

かねて病気療養中であった西本支部長が、このほど、ようやく全快したのを機会に、十二月三日午後六時から大阪・阿倍野の「以和貴荘」で十数名が集まって支部総会が開かれた。

西本支部長は「自分の病いのために支部発展に出来なったが、これからは、また元気に支部のお世話をしたい」と語り、氏の建康を気づかっていた支部会員をほっとさせたそして、今後の支部の方針として、前回好評であった古墳見学会などの実績から、地元の文化をさらに認識する意味で、河内文化の紹介を富田林支部と共催で行なう企画を発表。卒業後はともすれば学問的知識の摂取がおろそかになりがちであるのでこういう機会に、改めて地元のよさを認識することは、まことに意義深いものがあるとして、来年を期待させた。

このあと開宴にうつり、校友会を代表して樫本副会長が校友会の現況を報告した。そして、適当に座がなごやかだったころで自己紹介が行なわれた。当支部には、母校監事の西本支部長をはじめ、校友会広報部長の林信夫氏、母校勤務の秋山剛氏ら、母校ならびに校友会に縁のある会員が多く、一瞬、学生時代の思い出話などに話がはずんだ。

河内文化見学会を企画

元気になった西本支部長

十数年ぶりの出席

千陵会総会

千陵会（昭24年経済卒、昭26年学部卒同期会）では、本年度の忘年会を、十二月五日午後六時から、大阪・都島区の「桜宮会館」で開催。十余名が集まった。

当日は、十数年ぶりに、日本法制史の淵師吉田一枝先生と山本大阪地検検事のなつかしい出席もあって、特に話題もはずみ、忘年会にふさわしい、学生時代の懐古になつかしみあった。

国際情勢の講演会を聞く

今後は判例研究会なども

関大法曹会

在阪の校友弁護士は二百五十名で大阪弁護士会の三分の一を占める存在であるが、関大法曹会（幹事長、神宅賀寿恵氏）を組織してもう二年となる。春秋の二回にわたって総会を開いているが、さる十二月六日午後五時半から、大阪・北区曽根崎の「本むさし」で、忘年会をかねて総会を開催、約五十名が集まった。

懇親会に先だって、笹目新聞社の前論説委員平井忠夫氏の国際情勢特にキューバ問題をめぐって、米ソ対抗の内幕や、中印の国境紛争中ソの問題などについて新聞に出ない解説があった。

なお、本会では、母校法学部の教授、助教授を全員招いて懇談会を開いたのは九月であったが、今後は教授たちと随時判例研究などの研究会をもたいとの意向であった。

強固になった組織

日立造船関大会総会

昭和三十年に校友会の組織強化運動に呼応して日立造船関大会が結成されてから、はや七年。会員に多少の異動はあったが、大部分の人は当時のままで、会の基礎はますます強固になり、毎年欠かさず春秋二回の総会を開催して親密度を増し、職域会の使命達成に努力をつづけている。その七周年を記念して十一月十六日午後六時から大阪・都島区の「桜宮会館」で開催。十余名が集まった。

当日は、十数年ぶりに、日本法制史の淵師吉田一枝先生と山本大阪地検検事のなつかしい出席もあって、特に話題もはずみ、忘年会にふさわしい、学生時代の懐古になつかしみあった。

七十数名が集まる

尚志会後期総会

大阪市立中学校に勤務する教職員の関大出身者で結成されている「尚志会」の本年度後期総会が、十二月十三日午後五時半から、大阪市議・坂井三郎、植田宗治の両氏と、同府議寺西武氏などの来賓を迎えて、会員七十数名が出席、盛大に開かれた。

元尚志会会長であった後藤正身氏が校友会組織部長としてあいさつしたが、もとは阪南中学校長であったこの後藤組織部長と元相生中学校校長・道之前亘一氏を中心に、尚志会は発足したもので、当時は大阪市立中学校長で関大出身者は数名にしかすぎなかったが、その後、緑中学校長・足立信治氏（現会長）を皮切りに、多数の校長、指導主事級が輩出、現在では正会員百九十名を数え、大阪市教育会の一大勢力にまで発展してきて三名の会員が集まり、学友のよさを認識しあっては、会の雰囲気を盛っている。

社会福祉に生涯をかけてきただけに、その温厚な人柄は、多くの信望を集め、人づきあいもよく、地元の間でも、信貴山病院の所在をたずねると、懇切に教えてもらえるのも、氏の人徳のいたらしめるところであろう。趣味はゴルフで二年ばかり前に病気をしてから健康のためにとはじめたのがそのやみつきになった。最近では人十メキ腕をあげて、いまではハンディ11になったというのが、なによりの自慢である。子供は男三人、女二人の七人家族。長男と三男が医学界にすすみ、父親の意思を継ぐというよき家庭。次男は同窓の世話で関大卒後太平住宅に勤務。香川県出身。

貝塚支部

貝塚支部では本年度総会を、十二月二日午後六時から、市内の料亭「いづみ」で開催。二十余名の会員が出席した。

在任校友約百名というから出席率はいい方であろう。当日の議題として役員改選が行なわれ、その結果、支部長に市議の北村専一氏を重任、副支部長に泉谷与一、桜田五一郎の両氏、そして幹事長には市職員課係長の岩井利雄氏が決まった。

母校から出席の樽本理事が、大学の近況と校友会のあらましについて説明、創立八十周年記念事業計画、特に関大会館の建設には、校友の寄附を仰いで実現することになっているので、いずれ支部を通じて募金依頼することになっているから協力をお願いしたいとの要請があった。

あとはスキヤキで忘年会とし、なごやかに時を過ごし、学歌を斉唱したりして、九時すぎ散会した。

支部長に北村氏を重任

出席率のいい総会

応援歌の新曲を紹介してほしい

東京の各大学では、かずかずの応援歌があって、レコードにもなって普及されているときく。関西大学にも、現代にふさわしい応援歌があってもいいのではないだろうかと、さきの支部総会の席上で話し合ったところ、応援歌の新曲が一昨年に発表されているようである。私達はそのことを一向に知らない。卒業するとかえって母校のことを知りたくなるものである。折があれば「関大」紙上にでも、ぜひ紹介していただき、支部総会にでも、みんなでうたえるように普及していただきたいものである。（大阪市・西川生）

新幹事長に大南卓氏

布施市役所関大会総会

布施市役所関大会後期総会は十二月七日午後六時から、大阪・上六の「桃山荘」で、松井初子、栗山艶子の紅一点をまじえ、約五十名が集まって開かれた。美坂正利幹事長の司会で、上田虎弥大会長から、学長改選、卒業生の就職状況、建築中の体育館などの学内関係及び市役所関大会の近況などの報告があった。つづいて城戸盛蹴特別会員のあいさつがあり、岡崎会計幹事から会計報告。そのあと、幹事改選を行ない、幹事に左記の諸氏が就任した。

ひきつづいて懇談会に移り新会員池内幾久氏（前布施警察長＝現布施消防監）や森山光氏の日本舞踊などでくつろぎ、十時過ぎ散会した。

●新幹事は次の通り。
幹事長　大南卓
幹事　田中年　高橋淳　青田喜久彦

現役の日本一を祝す

空手道OBの千秀会

春の総会では白浜に一泊旅行を行なったりしてOB会の親睦を深め組織を固めている千秀会（空手道部OB会）では、春につづいて十二月一日から二月にかけて、城崎温泉「しのの屋」に一泊、日和山間遊をたのしんだ。

当日は、西村名誉会長夫妻ら四十余名が参加、空手道部の全国制覇をとげた日本一を祝し、より一層の向上を期待するとともに、母校発展のため八十周年の記念事業に協力することを申し合わせた。

尊い精神障害者の救済にあたって約三十年。

曖昧な恋愛の一つひとつの輝やきが苦難の歩みでもあっただけに、その労が認められ、このたび藍綬褒彰の栄誉によくし天皇陛下から親しく労をねぎらう言葉を賜わったときは、さすがに、感激の一瞬だったようである。

大正十四年専商卒。すぐに徴兵にとられ。宗教家であった兄の影響を受けて昭和7年、現在の病院の基礎を築く一歩をふみ出した。精神障害者のほとんどはショックによる精神分裂であって、はやく治療をすればそれだけ回復もはやい。しかし、設立当時は、精神障害者が出るということは、まだまだ家全体の不名誉として世間態をはばかっていた。だから治療することよりも恥を知られたくないという見栄が先きに立って極秘のうちに軟禁状態にあったという状態であった。それだけに愛の啓発にのりだしても、一般の認識が低く、経営の面においても苦難の連続だったようである。

しかし、その労苦も報われ、現在では本院四五〇名、三重県上野市の分院一三〇名を収容。本館も鉄筋に改築するほどにまでなっている。しかも、最近では同窓の井上賢一氏（大14専商卒）が経理部長兼監事として参画され、学窓の固い結びが四十近くになって、美しく花を咲かせられ同期会の春秋の集まりにはそろって出席、本学経済学部の森川太郎教授、太平住宅社長の中山幸市氏ら、笹目二十数名の会員が集まり、学友のよさを認識しあっては、会の雰囲気を盛っている。

このたび藍綬褒彰を受けた信貴山病院理事長の

竹林直信氏

謹賀新年　五日会

鎌用特許事務所
弁理士 法学士 鎌田嘉之
事務所 大阪市南区日本橋一丁目交叉点 電話 (631) 20 21 22 23 24 25 (641) 20 21 22 23 24
自宅 電話 (631) 20 21 22
弁理士 田中勝治
事務所 大阪市南区安堂寺橋通一ノ四四 安堂寺橋ビル三階
自宅 電話 (761) 六五〇八・六六〇八 布施 (721) 一七五七

藤原特許事務所
弁理士 法学士 藤原忠義
事務所 大阪市東区今橋一丁目一番地 一番館ビル三階（但し今橋西詰）
自宅 電話北浜 (231) 専用六七六五・六〇〇一 池田 (6) 七三七五

丸山特許事務所
弁理士 法学士 丸山喜三造
事務所 大阪市旭区大宮町八ノ五五（但し市電（守口線）大宮町電停前）
電話 (931) 二五四六 二五四七 三四六四

大阪府ミシン商・工・両協同組合顧問
弁理士 法学士 吉木由雄
事務所 大阪市西淀川区野里四〇
電話 (721) 二六六七・二一六六
自宅 電話 豊中 (9) 三〇一〇番地

◎石炭　コークス
◎金属塗装一般
株式会社 藤岡商会
大阪市西区江戸堀北通二丁目一
電話 大阪 (441) 3168番

関西大学天六学内食堂
佐伯食堂
佐伯欽次
電話 (351) 八一九六番

関西大学千里山学内食堂
西村食堂
西村国之助
電話 (381) 二九五六番

株式会社 竹中工務店
取締役社長 竹中錬一
本社 大阪市北区堂島中二丁目三〇
電話・大阪 (312) 代表 1251
営業所 札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡・八幡

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長 北原元茂

電気設備工事　設計・施工
富士電業株式会社
取締役社長 田中実
大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話 (541) 代表 0564-7・7148-9番
営業所 東京・静岡・名古屋・広島・福岡

創業 大正十年
暖房 冷房 換気
給排水 衛生
設備・設計・施工
株式会社 大阪城口研究所
大阪市北区高垣町一
TEL (371) 七五七五（代表）
出張所 京都・神戸

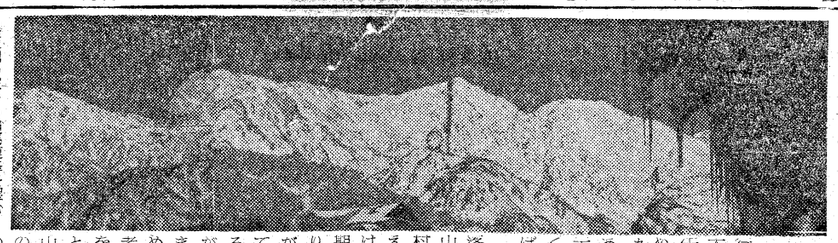
建築利殖の相談役（コンサルタント）
月々数万円 ～ 数十万円の収入！
アパートや貸店舗の経営で、今年こそ所得倍増を……とご計画の方に——建築利殖の相談役（コンサルタント）——太平住宅が資金と技術の両面からお手つだいいたします。30万円のお手許資金が100万円に生かせる便利な方法です。建築のことならお住まいから高層建築まで、いますぐご相談ください。

間取りの手帖・（第5集・住宅編）
これからお建てになる方のための実例写真集です。　定価150円・送料不要
中小住宅300選
すぐ役に立つ8坪から40坪までの実例設計図集です。　定価50円・送料不要
太平住宅
営業案内と月刊グラフ „住" を進呈
本社・東京都千代田区神田東福田町2　電話 (851) 代表 9301

白馬連峰の眺望を誇る

……校友でにぎわう関大山の家……

スキーシーズンに理想的環境



黒菱山の家から白馬連峰を望む

大阪駅午後九時三十分発の急行「ちくま号」長野行に乗って、大糸線の信濃四ツ谷に着いたのが午前八時七分。めずらしく快晴にめぐまれていて白馬連峰の白馬鑓ヶ岳、杓子岳、白馬岳が、朝陽をあびて峻厳な威容を、目の前に誇示していた。その八方尾根につづく中腹に関西大学黒菱山の家が、ぽつんと点在したようにあった。

麓の細野でバスを降りると、部落の中を五分ばかりで、ケーブル山麓駅につく。この細野に入って村の人々と話すとき関西大学といえば、村の誰もが親しく話しかけてくるのには驚いた。昭和の初期、山岳部がはじめてこの地に入り、西山氏をリーダーとした一行が黒菱から白馬へのルートを開いて以来、この細野一帯が認識されるようになったのだという。それが縁で毎年、山岳部の学生はきまってこの地を訪れは親交を暖めてつづけているのである。ある老人は西山氏と共に登った思い出をアルバムをひろげながら朴訥とした口調で話しつづける。関大山岳部の優秀さを賛え、黒菱小屋の建築に大きな力を借した関大生の山を愛する純朴さを賛えるのだった。そのときの眼には熱っぽいまでの親情が感じられるものがあった。それだけに昨年の山岳部学生の遭難の折、大谷定雄氏（山の家連絡世話人）を隊長とした救助隊の活躍ぶりはなみなみならないものがあったといわれている。また白馬観光開発株式会社の白馬ケーブルにはスキー部OBの松沢寿彦氏（昭33学一法）が勤務していて、なにかと心をくばっているような錯覚にいろされる。

山へはケーブルで16分。終点兎平には、モダンなスキーロッジや食堂があって、関大山の家はここから二十分ばかり歩いた右上方に手にとるようにあった。ここまでくると北には白馬岳、西南には鹿島槍、五竜岳が真近かに迫まり遠くに浅間山の噴煙さえのぞまれるという、その眺望はすばらしい。海抜千六百㍍。昭和三十六年十一月に工費一千万円で完成していないほどの諸施設が完備されている。隣りに並んでいる「中央大山の家」、「石神井高山の家」、「明大山の家」とは比較にならないほどで他校からも羨望の的になっている。山の家というと、とかく貧弱な小屋のようなものを想像しがちであるが、細野にある国際クラスのデラックスな白馬東急ホテルと比較しても遜色もなく、常時、八十人から百人近くも収容出来るという宿泊の設備は自慢していいほどのものである。一階は食堂、ホール、売店、浴室、スキーヤーホールなど、そして二階にはスキーヤーベッド（上下二段七〇人収容）和室六畳二間、七畳一室にホールがあって、スキーとともにスキー靴までそえて、一日二百円の使用料で準備されている。

年々、この地方を訪れる観光客の数は目立って増えているというなかでもスキーシーズンに入ってからは、アリがはいまわるようにして登ってくる。昨年のスキー客は年間約十万、今年はその二割増というのが地元の見込み。日曜日などはケーブルに乗るのに半日もかかるという状態で、それだけに山の家に泊っての一日は、まさに終日スキーを満喫出来るというものである。兎平スキー場はパノラマコースについた七百㍍の第二リフトは、初、中級者にはもってこいの場所であり、第一リフト五百五十㍍は、ロッジ下の鞍部から黒菱スキー場へと上級者向きのコースがある。特に黒菱スキー場は二百㍍Tバーリフトのある古くからの山岳スキー場で、雪質もよく、冬季オリンピックの候補地に選ばれたところである。本学スキー部学生とともに早稲田、慶応、明治立教、日大、芝浦工大など、関東の一部校がづらり合宿。オリンピック強化合宿も行なわれていてゼッケンをつけた一流選手が雪焼けした顔をひきしめながら滑り降りてくる姿は圧巻である。

スキーシーズンは十二月の中旬からはじまり翌年三月一旬にまでつづけられる。そして、雪どけのあとは、チングルマ、イワイチョウなどの高山植物のニッコウキスゲの黄色い花が咲いて、黒菱平から高原調の八方尾根へ、さらに白馬岳への登山コースが開けるのだ。

美しい白馬連峰に抱かれて、関大黒菱山の家は、四季とりどり、学生ならびに校友のすべてに、限りない山の旅情を提供しているのである。

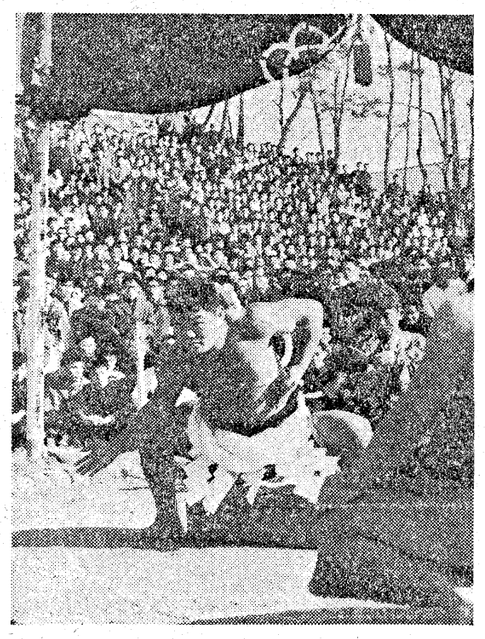
【メモ】＝アシ＝大阪―名古屋―松本（急行）8時間10分。松本―信濃四ツ谷1時20分。一、〇二〇円。信濃四ツ谷―細野バス10分。一五円。細野―馬山蘆駅―兎平ケーブル16分。上り一九〇円下り一七〇円（往復三六〇円）。国鉄運賃は二等普通料金で普通急行利用の場合は三〇〇円、準急利用は一〇〇を加算。また山麓から兎平付近までリフトもある。＝ヤド＝関大山の家（泊1食付）夏期（五月―十月）四〇〇円。冬期（一月―四月）五〇〇円。ほかに細野での民宿八〇〇円程度で泊まれる。

豪快な土俵入り

雲龍型を披露

十二月十三日正午から第四十代学生横綱平野君の横綱土俵入りが千里山学舎の土俵で行なわれた。新横綱はかって準内力士で平幕優勝したこともある元山錦（本名、山田善次郎・大正五年中退）の化粧まわし（本学が寄贈したもの）を借り、露払（相撲部川口君）太刀持ち（相撲部中川君）の役目を果した両君は現コーチの元十三錦（本名、寺尾市松・昭和二七年卒）の化粧まわしを借りて黒山の学生が見守るなかで豪快な土俵入り行なった。平野君は高校時代（高知・板野高出身）にも全国高校学生相撲大会で優勝し横綱となっている。

【訂正】既報（九三号）の平野優勝の記事中「学生横綱竹田繁七氏について二人目」とありましたが大正九年第二回大会で福井清助氏（大正十二年専門部法律科卒現在神戸で家具商）が横綱になっておりましたので三人目と訂正します。（編集部）



写真説明・相撲部の土俵で堂々と横綱土俵入りをする平野君

相撲部白山に登る

中島正文

僕が関大の福島旧学舎に在学したのは大正八、九年の頃である。その頃の関大は柔道、角力が全盛で野球部などやっと創設したばかり、役員の三谷、椅の両君や僕など何んとか関大運動部を売り出そうと苦労していた特に角力部は名門を誇るだけその護持に苦心を払った。地元の宿将福井、貴志、浜口の三君に北陸組の馬場、岡田君を加えさらに、関西中学角力界の覇者竹田繁七君を桃中から迎えて鉄の堅陣を張り大正十年秋の全国学生角力大会にみごと待望の優勝の栄冠を勝ち取った。

それだけに「気力を養い体力特に腰や脚力の強勁性を増進するには山岳登山に勝るものなし」と我田引水論をふって、馬場君の郷里越前と加賀の国境にそびえる名峯白山に角力部の集団登山を計画した。がさて実行となると都合が悪い、身体の調子が好くないと一人逃げ二人欠けて、角力部からは馬場、岡、樋口の三選手に僕飛入りの笠井君を加へて五名、些かお淋しい陣容であったが、意気は軒昂であった。

大正十年八月某日、越前武生市効外の馬場部を出発、福井駅を経て大野電鉄勝山駅に下車、比処から加越国境の谷峠を越へて白峰村に出で、白山直下の市ノ瀬温泉に一泊、明朝を期して白山禅定の取り行であった。一行は峻坂二里の谷峠にまず喫声が上がり、蒼浪として白峯村へ入って大休止、これから市ノ瀬温泉まで三里、薄暮、温泉宿加藤館に入った。新築間もないお座敷につくづく一同俄かに勇気百倍、一浴して汗を流し夕飯の膳に直ると関大角力部の意気凛々として上った。まず山神に一献奉つらでは、酌むほど酔うほどに面白く関大角力応援歌の合唱に近隣の浴客を驚かした。

濃霧中の白山禅定の快味を喧々として語り談じて衆客を驚かしたあつて二行の意気は天を突き振舞に浴客もやんやと笑声に入り盃の献酬も忙しく果ては関大学歌から角力部甚句「色は黒くても関大選手」まで虹を吸く大気炬に白山姫神を驚かしまつた天割ときめん。

明くれば八月某四日、いざ帰遷という途端に、これはしたり勘定メイパー全員の財布を逆さに振っても尚且つ五十円の不足とあり。これには鬼をひしぐ選手たちも部隊長の僕も小々と当惑、馬場、岡の両君は名立たる地方財閥、僕とても力んでみてもこの山中ではなんとも施術力ない土殻場、ところが窮すれば通ずのたとえの通り一行中の樋口君は当時相当の社会科学研究実践家で今度の登山行についても民厘眼鏡から指名の要注意の重要人物、武生は勿論、白峯村駐在所からもおざわざ僕に同君を勝手に飛騨側などへ下山させぬようにとこん談されていたので当座は驚いたものの、この危急なばあいにはもっけの幸い、この大人物を旅館へ抵当におき、白峯村駐在に保証させ、今夕帰宅と共に電信為替をもって支弁するが如何という孔明稿も洗足の妙策を案出して難色を示す樋口君には否応なくむり往生を強いまず一行は無事市ノ瀬温泉脱出に成功した。

一行は安宅関をこえた義経の一行よろしく逃足速く引揚げたことは天割にも多少のお目こぼしがあった訳でまずは目出たく御帰館と相成った次第である。

その後関大角力部登山というものがあったかどうかは知らぬがこんな珍登山は僕の長い登山歴中でも初めての終りで、好個の人質樋口君ながりせばと今に当時のスナップ写真を眺めて微苦笑を禁じ得ぬものがある。

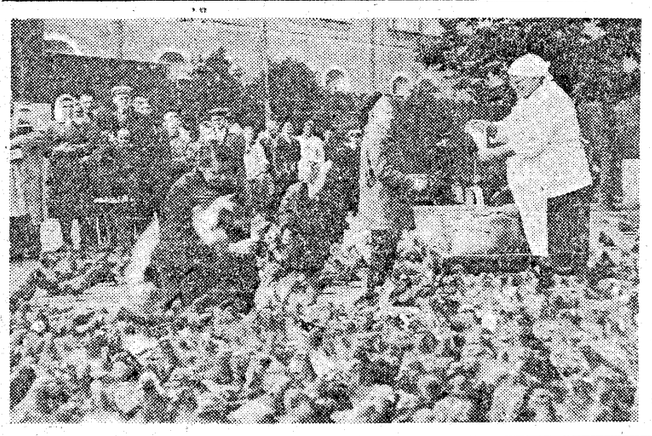
当年の角力部の選手役員諸君今に健在なりや如何、切に願かまほしきものである。（なかじ まさふみ氏は大正十年十二月法学部中退、現在富山県津沢郵便局長、昭和七年中島図書館を創設、津沢町に寄贈し現小矢部市立砺中図書館長、昭和二五年全国一の町村図書館を組成したかどで文部大臣より表彰を受く。大正十二年日本山岳会に入会、立山県部方面の開明に努し昭和三七年五月読売新聞社主催「立山大集会」にて「山の恩人」として表彰される。著書「黒部奥山と奥山回り役」「白馬岳雑巧」など。俳誌「辛夷」主宰。）

▽△

ソ連、ルーマニア見聞記

博物館のような駅構内

松井清



メトロ（地下鉄）　メトロはなるほど世界一と聞いておりましたが、おそらく実際に見なければ実感が湧いてきません。まず改札口で五コペク「二十円」を投函、もし蓮華寺で通れば放射線によって通行止の柵で閉め出しを食い、強心臓のわれわれでさえも実験は不可能でした。下りエスカレーター四、五台、上りが四、五台で並列にあり、必ず乗車の際は右側に一列に並び、左側は必ずあけておく。急ぐ者がハントンと左側を通って行く。地下八百米ほどを下ると初めて驚くことは丁度博物館に行ったような感じを受けます。

各駅ごとに全部構造、材料が違いある駅は古代英雄の駅ならば柱壁などあらゆるものが銅像で作られており代理石の駅ならば往昔、道路と目につく所全部が代理石の彫刻、電灯の駅ではあらゆる照明器具の粋を集め目にもまぶしいシャンデリヤが煌々と輝いており、各駅ごとに工夫をこらしておりますが、車輛そのものは、日本の電車の方がリッパでした。一廻り約五十分、駅は三〇ほどあります。

生活状態　モスクワもルーマニアも道路は広く、市電（二、三輛連結）バス、トロリーバスが発達し、乗用車はソ連製がほとんど、時速制限八〇キロ、到るところに花壇の綺麗があり、花を非常に愛している。映画館は東西南北に向い合って四つあり、中央には広々とした公園式の花壇綺麗が作ってある。おそらく同時にハネても混雑しないようにしてあります。

われわれ日常味わう交通事故、火事は全然なく、火事のごときは年に一、二度だそうです。ご多聞にもれず、ここでも住宅難で一人二畳の割で自下八階建のアパートが軒を並べて建設中であり、必ず一隅はマーケットになっております。

服装は色物が少く黒っぽい感じで、ルーマニアは四四年に開放された関係か、色物を着ている人が非常に多く、安らしく感じられます。生活費は家族三人で百ルーブル一百二十ルーブル（ルーブル四百円）程度で、必需品は割合に安く、衣類、雑貨は日本の三、四倍、一番安いのがアパートで、一室洗濯費ともで十ルーブルあれば結構。値段は変こえて行っても統一かけ値もなければ値切る必要もありません。ただ面倒なことは靴一足買っしても、まず売場で品物と値段をよく確め、然る後レジスター係に行き、必要額の金券を求め、これを持って売場に帰り品物と交換せねばならず手間のかかることこの上なしです。

勤務は全部八時―十四時、十四時―十六時昼食。この間はあらゆるものが閉店、十六時―十九後まで全部閉店で日本のようにたべもの屋あり、喫茶店ありと軒を並べているのではなく、ところどころにレストランがあるのみ。映画の外に娯楽機関はなく、味気ない殺風景な生活の連続で、戦争中の日本のようです。

遊ぶことの嫌いな学徒奴の石部金吉、金かぶとのお方はどうぞ共産圏えでも行って預金でもしていたゞくことですね。しかし何十年同じ職場で、同じ仕事をしている限りは、一銭の給料も上りません。仕事には一定のノルマが与えられ、ノルマを上げない以上は給料が貰えず、そのノルマは過酷ではなく、普通人であれば一定のノルマに達するように決められておりますが、しかし一倍半以上に出来るようにはなっておらず、ノルマの給料では一人がやっと生活出来る程度で、二人以上は生活出来ずそれがため夫婦共稼ぎをせざるを得ないようになっております。職場が変れば給料が、昇給しているかダウンしているのかどちらかであります。

その反面社会保障は発達しており入院費、幼稚園から大学まで学資は不要、男六十歳、女五十歳より年金制度あり、その年令に達するまでは「働かざる者は食うべからず」となっております。

洗面所　ホテル、列車どこへ行っても洗面所のゴム栓がないことです。ジャグチが下の方にでもついておれば手に受けて洗うこともできますがそのジャグチが又至つて大きくしかもちょうど頭の当る位置にあり顔を洗うにも洗えず、共産圏の人は洗わないのか？それとも洗面器に水を溜めることが不潔なのか？それとも必要を感じないのか？いずれにせよわれわれには不便であり、ハンカチで栓をして洗ったような次第でどうもこんなところが抜けているように思われます。

写真説明…赤の広場で（つづく）

花井杯に藤原三郎君

第十七回全日本学生雄弁大会

第一七回花井杯争奪全日本学生雄弁大会は十二月八日十二時半から中央大学大講堂で満員の学生諸君のもとで開催された。本学を代表した藤原三郎君（商四、雄弁会）は〝造り論をめぐって〟の演題で初優勝した。藤原君はこれまで明治大学の部門別優勝雄弁大会に三度、三六年度と連続優勝、紀州雄弁連盟主催の三六年度全日本弁論連盟主催大会（大学生部）にも優勝している。花井杯は故花井卓蔵氏の御遺徳を偲び、その遺業顕彰のために創設されたもので、数ある弁論大会中もっとも権威のあるものである。この大会で優勝したのは関西では本学がはじめて。なお本学雄弁会では新名薄作成のため雄弁会OBの諸氏は千里山学舎の雄弁会にまでお知らせ下さい。

序曲〝盗むかささぎ〟　関西大学交響楽団の第十四回定期演奏会は十二月十二日午後六時半から大阪御堂会館で行われた。辛山基郎君（文三）の指揮でOBを含む六〇余名による楽団編成のもとで、モーツアルトの「ブラーグ」ベートーベンの「皇帝」ロッシーニーの序曲「盗むかささぎ」を演奏した。なおゲストとして梅本俊和氏（大阪音楽大講師）を招へいした。

献血を呼びかける　本学自動車部　十二月三日午前九時ごろ千里山第三学舎前で日本赤十字奉仕団に加盟している体育会自動車部は血液銀行に協力して献血を学生に呼びかけた。今回は二回目で先月二十一日には約百名が献血を行なった。最近交通事故、その他の手術に血液を必要とすることが多いため、この愛の献血運動が全国的に行われている今日、自動車部が率先して献血運動に協力したもの。

信用調査、市場調査、経営診断

日本企業調査株式会社

（社員募集、詳細は面談の上決定致します）

取締役社長　小林　弘
専務取締役　大峯　正雄

大阪市西区京町堀2の61（藤原ビル）
電話　大阪（441）2824・5790番

謹賀新年

校友公認会計士有志

公認会計士・税理士　浅山敏夫　尼崎事務所　尼崎市昭和通二丁目六七　電話㊟一七四四・八三三一　大阪事務所　大阪市西区立売堀北通一ノ一五　電話㊤四四二八

公認会計士　上田高嶺　大阪市北区万才町四三　伊藤ビル三階　電話㊤九六七一二二　自宅　大阪市旭区大宮町七丁目一七九　電話旭㊤七二六九

公認会計士　大村孝永　大阪市城東区放出中一ノ四　電話大阪㊤三七一三

公認会計士　北坂正三郎　和歌山市湊楠屋町九　電話和歌山②二三五二

公認会計士　桑原義隆　事務所　鹿児島市金生町観光ビル　電話②三六三六　自宅　鹿児島市鴨池町一九〇九ノ二　電話④二五八〇

公認会計士　耕斗二　大阪市東区谷町一ノ四四　電話㊤六〇四・七四八六（但し東税務署南へ百㍍西側）

公認会計士・税理士　卜田章之助（しめだ）　大阪市西区西長堀南通一ノ一（山本建材社ビル三階・市電四ツ橋南詰東角）　電話㊤一六一四・㊤九〇六六　自宅　豊中市本町一〇ノ一三　電話豊中②五〇一七

公認会計士　竹内兵司　大阪市東成区大今里本町一丁目一四八　電話㊤三六四・三六五五　自宅　堺市大浜北町三丁二二〇　電話堺②五二二

公認会計士　谷口宗一　会計士補　谷口弘一　事務所　大阪市北区神明町八番地ナショナルインターナンビル（梅田新道交叉点東へ一丁電車道南側）　電話㊤五七二六番（高速）

公認会計士　近松正雄　大阪市東区島町一丁目九　電話大阪㊤〇四〇四・六九四六・六九四七・六九四八

公認会計士　津田良雄　大阪市北区天満橋筋一丁目二六　電話大阪㊤〇〇二四・二四三〇

公認会計士　辻野明　辻野公認会計士事務所　大阪市南区大宝寺町中之二四六　電話大阪㊤二一一二七

公認会計士　長束良雄（なつか）　高槻市上田部三二四　電話高槻⑤二一七四

公認会計士　中尾勝二　大阪市南区順慶町通四丁二　心斎橋筋（光洋ビル）　電話㊤二七四六㊤一五〇三　自宅　池田市野町六〇ノ一　電話池田⑥七八六一

中谷公認会計士事務所　公認会計士・税理士　中谷政男　大阪市南区難波新地二番丁二六　電話㊤五八〇・七三九七　自宅　布施市宝持一四六　電話大阪㊤三七三九

公認会計士・税理士　中辻稔　大阪市北区天神橋筋五丁目二八　電話㊤七三八三　自宅　大阪市城東区野江西之町八六　電話㊤七五〇六

公認会計士　福田憲彌　事務所　神戸市生田区栄町通四ノ二三　同和第二ビル　電話神戸④四〇一四・四〇一五　自宅　明石市大蔵谷字権現山二三一九

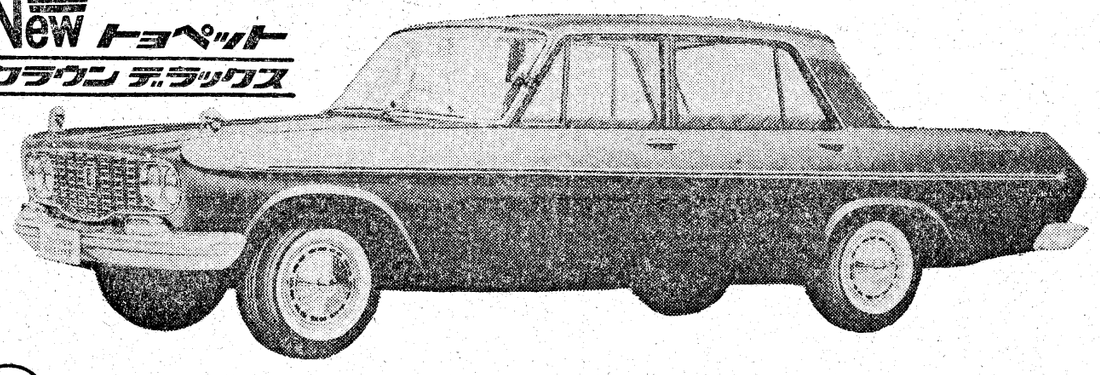
公認会計士・弁理士・税理士　藤川建治　大阪市東区淡路町三丁目六　船場ビル三階　三〇六号室　電話（直通専用㊤三六八〇）㊤八六三〇―九　自宅　池田市西市場町四ノ一〇

公認会計士・税理士　山田栄一（昭25大経卒）　事務所　大阪市天王寺区勝山通二丁目二〇五　電話㊤七二六一・七七七六

公認会計士　米山正次　大阪市北区曽根崎心町二ノ七　電話㊤八〇二一・九一〇八

新型クラウンこの見事な美と機能の調和！

New トヨペット クラウン デラックス

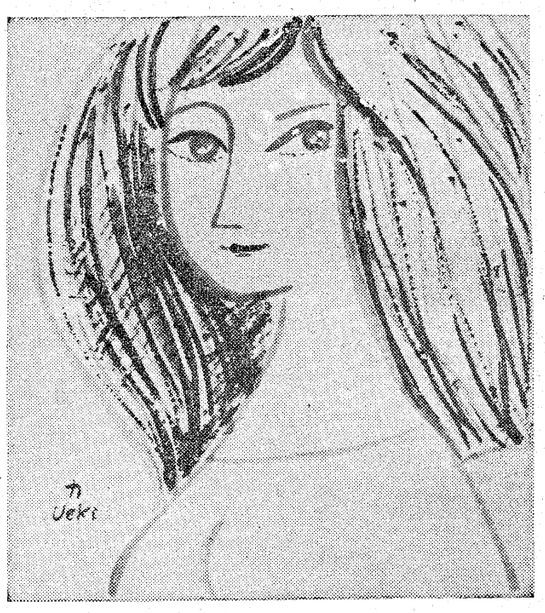


大阪トヨペット株式会社　本社　大阪市福島区上福島中2―64　電話（451）6181

旅　旅行のことならお気軽に校友のツーリストへ
安心して乗れる校友のタクシー　車

関西交通株式会社
八尾交通株式会社
株式会社　関西ツーリスト
取締役社長　池田要二郎（大正13専商卒）

関西交通本社　大阪市天王寺区南河堀町九三　電話天王寺㊤代表七五五一
加美営業所　大阪市東住吉区加美旭町　電話東住吉㊤代表三五五一
田辺営業所　大阪市東住吉区田辺西ノ町　電話東住吉㊤一七五三
八尾交通本社　八尾市顕証寺　電話八尾二七四五
平野営業所　大阪市東住吉区平野京町一丁目　電話東住吉㊤代表〇七一八
近鉄八尾駅前　八尾市西郷　電話八尾三一六四
山本営業所　八尾市山本五月橋西　電話八尾三〇八九
関西ツーリスト本社　大阪市天王寺区堀越町　天王寺ステーションビル三階　電話㊤三九八八



春宵を喰う

植木力　文と え

長年かすみを食ってきた私にとっても、春宵は、また格別に目出度く味わい深い。

ヤケに忙がしいらしい当節、誰れもが調子を合わせて、あくせく廻け回っている。が、人間、無限にひまを持つことは、特に芸術家にとって大切なことではないかと思う。それが、ハタ目には、いつものんびり悠々自適のご身分にとられ、中学生の坊主には意け者の親爺に見えるらしく、「少し仕事しろよ。何か考えてるんだろう」と督励される。彫刻仲間が、チャンバラの初夢を見たそうだ。大勢の白刃に取り囲まれて彼は必死に構えて、背中合わせに敵に向っている男の顔を月明かりにすかして見たら私だったというので吹き出してしまった。

彫刻家の生活は、サーカスの綱渡りみたいだと、彼はいう。

久しぶりに会う友人は、かならず、どうして食ってるんだときく。現代は、彫刻家が生きているのが、七不思議の一つみたいな顔付きである。

東京の生活は、仕事がなくても毎日忙がしく、そして結構たのしいから妙だ。何もしないでナントナク生きているところを見ると、東京には、私のまわりには、まだカスミが残っていると思われるのだ。

昨秋、懇意な頭梁がやって来て、手があいたから、思いきってやっちゃいましょうという。外壁のモルタルが痛んで来たのではがして板張りにしたいと思っていた。アトリエに中二階を作り、ガラクタを整理して、仕事をしやすいようにしたい。ついでに応接間も拡げて日当りのいい仕事部屋にしたらと、近くに住む早大の建築家が設計してくれた。施主に何の用意もないに、設計料も払わない小改造に、友人の建築家が、他に芸大、日大とやってきて、むきになって、ああしろ、こうしろと注文を出す。そして金策の心配までしてくれるのだ。中二階の下にろを切って、一杯呑めるたまり場も作った。自在は高山からくることになった。

新しい仕事部屋で、新年の陽光をたっぷり浴びて、冬枯れの庭を見る。山茶花の霜にめげず可憐な花。くちなしの実。つはぶきのりんとした黄色い花、そして墨を入れた石が三つ四つ。霜柱の中に転がっている。これから少しコクのある仕事をしなければと、自分にいいきかせている。

（二陽会会員）

酒談義

鋳方貞亮

「関大」紙から、お酒のことについて、何か書けというご注文である。何時のことかはっきり覚えていないが、以前、「経済セミナー」という雑誌に、「関大経済学部・酒のみの西横綱とかかれたからには、無論、断わるわけにはいかない。

そこでいろいろ考えては見たが考えれば考えるほど、飲み気が先きだこたって、ぜんぜんペンが動かない。ええい、ままよとペンならぬ猫利を三本たのしんで以下談ずる次第。ゆめ不真面目と思わないで下さい。これは「関大」紙さんが悪いのです。何といっても、わたしにとって、研究したり書いたりするより、はるかに飲む方が好きな酒なのですから。

「一年の計は元旦にあり」。誰れでも知っている諺である。元旦には、如何なる下戸でも先ず酒を飲む。一年の計は酒に始まるといっても、あえて過言ではあるまいなかには小原庄助氏のように、年がら年中、正月を繰り返した先達もいるが、それでは誰れだって家計がもたない。哀れを止めるのが才子である。

さて、自分のことを書いて恐縮であるが、わたしの酒歴は、すでに出生以前に始まっている。わたしがまだ胎内にあったとき、母はただ無性に酒が飲みたく、毎日のように、お酒を嗜んだそうである。今度の子供が酒飲みにならねばよいがと念願しつつも、やはりやめられないのが酒であったと述懐していた。悪い予感というものは不幸なことに良くあたるもの。あまりにも予感があたり過ぎたわたしであった。幼少の頃から弱い体質であったわたしは、毎日肝油を飲まされていたが、それは、しばしば導めた葡萄酒に砂糖を入れ、その中に少しばかり肝油を落とした液体であった。わたしは常に、肝油を少なく、葡萄酒を多く入れるよう母に所望した。

中学三年頃には、世の中に酒ほど美味しいものはないということを自力で発見した。台所の四斗樽から音がしないように栓を抜き、酒をコップに入れる方法をも発明した。その後の酒とわたしの関係は、読者諸賢のご賢察におまかせするとして、少々、読んだ本から引用させていただきたい。遠くは孔明、次は白秋、牧水、大観等が大の酒党であったことは、皆さん先刻ご承知の通り。さて辞書類従、巻第三百六十八に「酒食論」というのがある。上戸と下戸と中戸その名は造酒正糟屋朝臣長持＝ミキノカミ、カスヤノアソンナガモチ、飯室律師好飯＝イヒムロノリッシコウハン、中左衛門大夫中原仲成＝ナカザエモンタイウナカハラノナカナリという三人が、それぞれ我田引水的主張を実に面白く述べている。左に引用するのは「造酒正長持中様」の一部である。

いかなるなげきのある時も。心くるしきおりふしも。よろづわすれて心やる。さかもりこそはめでたけれ。まして祝の時は。賀酒とてさけをまづそのむ。上戸は酒にまとひつつ。世さまわびしと申せども。下戸のたてたる蔵もなし。云々。

その通り、その通り。酒のみの心境は古今を通じてあやまらず、洋の東西を通じてかわらない。イギリスの詩人ロバート・バーンズは恋人と馬小舎の寝藁の中での最高の恋をうたった。彼もまた大の酒好きであった。

知識、酒飲みは、とかく世間では評判が悪い。世の中に残念なことは数々あるが、わたしにとってはこれほど残念なことはない。お酒の神様に申し訳が立たない。俗悪なものどもが、あまりにもお酒も憑用しすぎるからだと思う。

また群書類従、巻三百六十八に「酒茶論」というのがあり、酒飲みの忘憂君という人が言っている曰、堯帝千觴（さかづき）を累ぬれば、則ち其の仁義古に伝う。孔子百壺を傾くれば、則ち其の德四海に溢る。儀狄酒を作り禹王之を飲む。杜康（酒造りの杜自はこれから始まる）酒を造る。武帝歌って曰く、何を以てか我が憂を解かん。唯杜康の酒あるのみ。（中略）また、清酒を以て聖となし、濁れるを以て賢となす。則ち、聖賢の道、また酒より起る。（中略）古経に曰く、酔はず醒めず、飲これを中という。これに由ってこれを観るに中庸の道、また酒より起る。また史記に云う。百薬の長酒なる哉。

大いに玩味するに値すると思うが如何。

お正月である。一年の計を立てるべき時である。酒には美しい夢がある。酒をのみ、その夢を実現させたいと思うのは、はたして酒飲みだけの夢であろうか（本学経済学部教授）

好事随志

香雪　大関心言

さるいしばなし

島田福雄　画と文

皆様とくご存知飛ぶ鳥の明日香の隣りに、檢隈＝ヒノクマ＝というところがある。千二百年の昔は漢の霊帝の裔と自称する中国からの大移民団東漢＝ヤマトノアヤ＝族の根拠地だった所で、例の蘇我氏の武装はこの人々がやっていた為に、現分の方にお神輿を上げて近くに引っ越し、お墓で山や丘ごとはけのややしくて、せまい所ばかりのアスカみたいな所が、百年の間帝都になったという曰くつきの所だ。

ところで、その檢隈には仏教が始めて来して来た時のみかど欽明のお墓が今も残っているが、同陵の前方には、さらに天智天皇のお母さんに当る吉備姫王のお墓なるものもある。

本稿の表題としたさるいしは、実にその中にあるのである。

× × × × ×

さて、さるいし即ち猿石は元禄年間、欽明陵南の池田……と文書に見えるから、ご陵の周濠がうもれて田圃になっていた……そんな個所から、世にも不思議な顔なり形なりの石像四軀を掘り出されたらしい。しかし、郡びた片田舎の村びと達の知慧では判じ兼ね候うて、どうやらお猿さんらしい……という程度で、誰れともなく猿石、猿なら山王さんのお使い姫だから、山王さべ、あるいは掘り出した山王権現と呼び合って、このあたりからずべり落ちた……と察せられる陵の山に移した…の を、明治のはじめ現地に運び直したものという事になっている。

さて、この猿石を広く世に紹介したのは徳川時代の民間考古学者つ女のは左右の手で左右の乳を隠しながら、かんじんの部分はどちらも仲良く公開している外に、坊主や猿に似たのがあることを知らされたのである。

けれど明治・大正の教育を受けた連中のほとんどは、なんとしても神聖極まりないご陵に、男のもの女のものをこしらえ、べろりと出した様なそんな行儀の悪い人形はあるものか…と、頭から問題にしないのである。だがこれは絶対に違いのでも偽せものでもない…ので、そんな人に私は常々次の様に解説しては、によりとべロリとを肯定してもらっているのである。

× × × × ×

欽明のご陵は推古廿年に完成したらしいんです。それは日本紀に砂磯＝ザザレイシ＝を陵の山に葺く…とあるからですが、この時、域外に土を積んで山を作り、その上へ氏毎に料して大柱を建てつらねさせた所、東漢の坂上の直のが非常に立派だったので、時の人大柱の直と呼んだ…ともあります。ご陵の近くに人造山を築き、どんな柱だかはっきりしませんが、とにかくニョキニョキと柱を並べたすが、実物を見たのは始めてだから驚きました。だが貴い方にはミホトをほんとに驚願うためだと合点出来ました。

こんな次第で頭を切りかえると上代人が童々とミホトという言葉を使っている。例えば、神武皇后のお名が最初ホトタタライスズヒメであったり、安寧天皇の陵名が畝傍山西南御陰井上＝ワネビヤマノヒツツサルミホトイノ＝であっても、ちょっともおかしくなくなるんです。

なにしろ上代人は天衣無縫でしたから、かの大和三山…で耳梨と香具山が男山、畝傍が女山だと闘く、畝傍の方…とふたつ尾を引く所の根元のミホト迄作らねば気が済まなかったのです。

それから男の方も、ものの本にこと見えませんが、前記豊中から池田を経て、もっともっと奥へ進み、能勢の山辺あたりへ行きます と、頭掛けをする際、男は自分のものを、かしこみかしこみ神さんに見て頂く……このようにすれば女神はよだれをたらし給うて成就疑いなし……との信仰が現にあるそうですから……ます大丈夫です（挿絵は欽明陵の猿石、お顔がどこやらの国の有名な、かってのお方にこわい程似ています。）＝筆者は池田市史編纂委員＝

題字・当麻寺　松村実照師

桃源ゆめ多き

明珍昇

大地を彩る　夜明け
狂躁の烈日　未来にわたるところ
真実の谷は　深くけわしく
あこがれの原は　はるかなるとも
われら知り
われらの血潮に
あつく通い　よみがえりくるもの
桃源と　白亜の空間―
そこに
やわらかに　こもり
あかあかと　息づくもの
関西大学　われらここに
春秋の思いあれば

ご結婚

▼吹田稔氏（昭32学二法・兵庫県庁）は、十一月二十三日、かねて婚約中であった塚原智恵子さんと挙式。新居を神戸市東灘区本山町中野字戸田筋三五の六にかまえた。

▼井関吉郎氏（昭34学一法）は、十一月二十四日大阪照井会館で挙式。新居を豊橋市左藤町江島八七の二にかまえた。

▼日高準一氏（昭35学一法・シーコーレンス）は、十二月二十一日田誉教授の媒酌により石田哲子さんと挙式。新居を西宮市古川町五浜甲子園団地一〇号の四〇五にかまえた。

移転

▼塩見哲司（昭36学一法・松崎）大阪府三島郡三島町味舌四六八
▼湯口昭夫（昭37学二法・三菱電機伊丹製作所）尼崎市水堂字榎木二〇榎木荘第四住宅北五号
▼清谷満男（昭34学一法・布施市役所）吹田市佐竹台五の一府営B二三号二〇四号室
▼黒田邦彦（昭34学一経・三井生命）高砂市阿弥陀町アミノダ
▼藤井康男（昭27学一経・大阪新菱自動車営業所長）大阪市生野区新今里町一の一大阪新菱自動車内
▼村松勝巳（昭22専二商・村松会計事務所）守口市古町一の三八
▼河崎了三（昭27学一法・国鉄関西支社）大阪阿倍野区松崎町二の六五
▼水本生（昭18専一法・国鉄大阪駅）大阪市阿倍野区松崎町三の一二七
▼松村恕吉（昭36学一法・八千代証券）青屋市退ケ丘八八、八千代証券青屋寮
▼見方順（昭32学一法・藤本商業）大阪府北河内郡門真町大字一番四〇
▼佐々木英（昭33学一法・大阪阿倍野府税事務所）吹田市佐竹台五の九の三
▼石村武徳（昭37学一経）豊中市服部本町五の四四豊中C団地三の八一号
▼馬越長太（昭35学二商・七宝メタル工業）大阪市東住吉区西今川町四の二
▼村上雅胤（昭37学一経）布施市高井田一四六五
▼山本正信（昭18大法・関西電力大阪南支店経理課長）尼崎市西武庫伊田二〇の三
▼添原広治（昭36学二法）八尾市緑ケ丘一の一八
▼下村善博（昭34学一文・布施市役所）布施市太平寺四二
▼中村幸夫（昭25専二法・堺市役所）大阪府南河内郡狭山町西池尻三二〇の一
▼茂森唯男（昭34学一商）尼崎市難波本町一の一六の八
▼丹田徳一（昭36学一経・葛西製作所）布施市中小阪三三八
▼小町雄一（昭29学一経）横浜市南区大久保町五六三
▼児玉登（昭17専二英・ボン商会社長）大阪市南区瓦屋町公団住宅四一二
▼中村暢克（昭36学一経・第三相互銀行堺支店）大阪市西成区聖天下二ノ二〇、三銀ナニワ寮内
▼広田新（昭33学一文・西川ゴム）枚方市朝日ケ丘大字養野一〇五
▼小椋義三郎（大8専商・立花農業協同組合）尼崎市七松字橋九七の三
▼清水利三（昭33学一法・大阪市土木局）大阪市東住吉区喜連町九三市営住宅七一二八号
▼松下省吾（昭30学一商・松下ミシン店）南区瓦屋町三番丁六八日本住宅公団四〇七号
▼入江重明（昭31学一商・入江印刷所）大阪市東住吉区西鷹合町三の一鷹合アパート一一号二八八
▼北村久義（昭34学一商・三和信業調査取締役）茨木市大字水尾六番住宅公団臨港第二団地北館一〇四号
▼元山秀雄（昭27学一文・大阪市立教育研究所）大阪市住吉区西長居町五七九
▼千葉純一郎（昭35学一法）兵庫県養父郡関宮町関宮
▼平原定敬（昭33学一文・ナニワ印刷）吹田市垣内奥町一〇三六ノ二
▼大森茂山（昭30学一法・ナニワ印刷）大阪市東淀川区井高野町四〇八ノ一五
▼井川強（昭36学一経・大阪信用金庫）大阪市旭区大宮町一〇ノ七
▼高橋健司（昭33学二経大阪国税局）府下枚方市中宮本町枚方第一寮内
▼山西伍（昭37学一法・大運）大阪市東淀川区井高野町四〇八ノ一五
▼大岸泰（昭32学一経）吹田市大字佐井寺二五住公B42―一〇七号
▼延原金雄（昭16大経・三井倉庫神戸支店）伊丹市鈴原町一ノ八
▼矢野恵美男（昭27学一法・三井倉庫神戸支店）神戸市兵庫区山田町字小部南山二ノ五四
▼花田睦郎（昭27学一法）高槻市桜ケ丘一六九
▼和田忠義（昭6大経・朝日火災海上保険代理店）尼崎市築地本町二の五六
▼内田恒雄（昭22専二経）尼崎市東武庫字川緑二二
▼奥野安次郎（昭13大政昭和運輸）松原市清水町一七二
▼小野勝之（昭32学一経・ナニワ包装）伊丹市北村字道際三七九
▼田中裕（昭32学一経・第一信託）枚岡市西条町二二
▼鈴木佐弘（昭36学一商・長船商店）岡山市二日市町二五八
▼五十野卯一郎（昭3専商・八幡製鉄大阪事務所）大阪府北河内郡門真町大字野口一九ノ二
▼山本修一（昭36学一法・栗田工業）豊中市大字穂積一四一四、栗田工業服部寮
▼野田隆三（昭31学一商・指吸千之助事務所）堺市大町西三丁二四孔雀荘内
▼清水良市（昭26専経・堺市役所）堺市日置荘北七〇ノ二二二
▼菊岡得夫（昭34学二法・大阪市役所）尼崎市昭和通四ノ一三六、住友海上火災内
▼天野正巳（昭17専法・堺区検査事務）松原市河合町六〇三ノ三一
▼山口岩夫（昭14専商・大阪中央放送局ラジオ制作部々付）寝屋川市郡NHK寮七
▼碇一夫（大14専法）札幌市真駒内上町二丁目
▼井野辺光男（昭33学一文・太陽工業営業第二課長）大阪市東淀川区木川東之町五ノ三九ノ二
▼三間重樹（昭25学一法・豊崎中学校教諭）枚方市香里丘六の三七
▼半田久寿男（昭10大経・日本企業調査取締役）茨木市大字水尾六五茨木団地八の一八二
▼高本林吉氏（本学経済学部助教授・高本昇氏尊父）は、十二月十一日直腸癌のため死去。告別式は十四日午前十一時から、大阪市西成区旭南通の法祐寺で行なわれた。
▼今井兼輔氏（本学評議員・今井康兼氏尊父）は、十二月十四日脳溢血のため死去された。七十六才。告別式は、十六日午後二時から豊中市岡町の自宅で行なわれた。

大阪学生服協会
株式会社 長谷屋商店
大阪市天王寺区東平野町三ノ五〇 電話天王寺㊿四九〇四番

株式会社 ベビー洋服店
大阪市北区天神橋筋五ノ四三 電話堀川㊿八一四五番

アサヒビールは あなたのビールです
姉妹品三ツ矢サイダー
アサヒビール

謹賀新年

関西大学校友会
学校法人関西大学　役員有志

関西大学役員

理事長　三好萬次
学長・理事　中谷敬寿
専務理事　久井忠雄
理事　岡野衛士
理事　樫本信雄
理事　西村治三郎
理事　松原由
理事　矢野文雄
理事　長柄金吾
常任の監事　西本寛一
監事　松尾高一

弁理士　大島武夫　電話㊶一一〇〇番
弁護士　大川光三　電話・㊶一五五一番
弁護士　越智比古市　電話㊸六〇一六番
医学博士　江里口春志　電話㊿〇三一六番
弁護士　梅原貞治郎　大阪市東区備後町二の二一野村ビル五階五一七号室　電話㊿一七四〇番
法務省保護司　柏元孝治　電話・柏原㊼〇一五六番
大阪興論調査研究所　所長　門上敏夫　大阪市東区道修町一の六日産ビル2階電話㊿二六三番　自宅・枚方市清滝八四　電話・枚方二五二〇番
弁護士　河内兼三　大阪市北区梅ケ枝町ヤノシゲビル電話㊿一八八二番　自宅電話・㊿一四二六番
株式会社　巌　取締役社長　千巌克郎　大阪・上四電停前　電話㊿七一二五番
篠原昭三　大阪市旭区生江町三丁目
中小企業診断員　税理士　司法書士　坂本竜夫　枚方市大字渚八四　電話・枚方二五五三番
近畿相互銀行　専務取締役　菊久池博　大阪市東区本町二丁目
大阪府労働部長　寒川喜一　大阪市天王寺区清水谷東之町四三七　電話・㊿六八九五番
日本軽自動車株式会社社長　大阪市会議員　寺西武　事務所・大阪市旭区千林町三の九〇　電話㊿四五六三番
大阪市会議員　中石清一
弁護士　大月伸　事務所・大阪市西区上佐堀大同ビル　電話・㊿六七一番　自宅・宝塚市川面小場北一三の六　電話・宝塚三六三四番
大阪郵政局貯金部長　井上竜男　明石市藤江一七〇三の五
大阪日日新聞社　社長　石井寿一　大阪市西区江戸堀北通二丁目
大阪市立高倉中学校教諭　岩城富子　大阪市東淀川区東淡路町四の一八
公認高槻自動車教習所　所長　織田佐代治　高槻市西天川五〇〇
四天王寺学園　柏原支部長　奥野甚蔵　電話・柏原㊼四一〇五番
阿部甚吉
京阪神地方特定郵便局長会会長　大森俊次
弁護士　後藤正身　八尾市植松一一一八
大阪府会議員　小林巌　大阪市都島区中通六の四五　電話・㊿五五四〇番
小寺小市郎　大阪市北区堂山町一〇六　電話・㊿八〇五一―四番　自宅・豊中市吉野通一の七　電話・豊中②三八七七番
帝国カーボン紙株式会社　社長　北原元茂　大阪市城東区放出一五三九　電話・㊿七七四一番
中植木材株式会社　社長　中植巻一　大阪市大淀区本庄川崎町三の二四（但し天神橋筋七丁目電停西側）　電話・㊿一八八一、八五六九番
株式会社大阪都ホテル　取締役支配人　中沢俊雄　国鉄天王寺民衆駅内　電話・㊿七七五一番
弁護士　中務平吉　大阪市東区今橋一丁目　朝日生命ビル四階　電話・㊿二七一七番
大平住宅株式会社　取締役社長　中山幸市　東京都千代田区神田東福田町二第二大平ビル　電話東京㊾九三〇一番
畑下辰典　大阪市天王寺区上本町五の一二　ヤマトビル、電話㊿五六四六番
公認会計士
毎日新聞大阪本社紙面審査委員　林信夫　大阪府南河内郡美陵町小山四九五　電話・阪南⑤二三三〇番
弁護士　深川実
西支部長　札野茂次　自宅・吹田市大字山田下二九一二の四
ナショナルインターホン販売株式会社　代表取締役　前川信之助　大阪市北区神明町八
前田金属工業株式会社　社長　前田軍治　大阪市東成区深江東二の三四　電話㊿八〇五一―五番
株式会社　三協製作所　代表取締役　松井剛　大阪市東住吉区山坂町一の六三
鉄道弘済会大阪営業所長　松村睦鴻　大阪市北区梅田町五二九
株式会社　松広製作所　社長　松広寿衛　名古屋市中川区五女子町一の七一　電・話名古屋㊸六七九七
和田栄太郎　大阪市西成区東萩町五一
朝日放送（ABC）　取締役業務局長　吉田三七雄
会社役員　吉田鹿之助　京都市北区紫竹東高縄町五四
弁理士　吉木由雄　電話㊿二六六七、二六六八　自宅電話豊中②三〇一〇
大正支部長　横山栄吉　電話・㊾二〇一六番
尼崎製鈑株式会社　社長　山野田重治　茨木市春日丘二七三
公証人　山崎敬義　神戸市生田区多聞通二の二四　電話・神戸④〇四六九番
豊中支部長　弁護士　安富敬作　大阪市北区樋之口町三　電話・㊿〇〇二二番
関西大学校友課長　安井章吾　伊丹市主基町五四七　電話・伊丹四五四〇番
異羽製鋼株式会社　社長　森正治　大阪市西淀川区竹島町五の一　電話・㊿四三三一―四番
大阪市衛生局次長　村上精三　西宮市苦楽園三番町八
株式会社大阪　専務取締役　有馬商店　特約店　向井裕亮　神戸市生田区中山手通六二の二　中山ビル電神戸㉓一一二一三　自宅・西宮市寿町九の二三
徳山セメント、豊国生コンクリート、関西スレート、神戸生コンクリート
バール化学工業株式会社　取締役社長　万谷楠雄　大阪市南区長堀橋筋一の一